



感受性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い、  
大藏流狂言師・茂山千三郎が演出します。  
「狂言」を通じて日本の伝統を  
身近に感じてもらうための体験講座です。

子どものための



# 狂言体験

講座  
2020年

2月2日 3月1日  
3月7日 3月14日

各回 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)

発表

3月15日 15:00開演 (14:45開場) 観覧無料

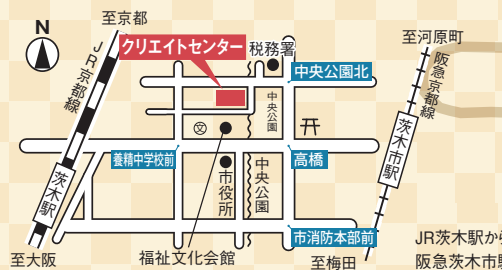
会場 《講座》茨木クリエイティブセンター 2階・多目的ホール ほか  
《発表》茨木クリエイティブセンター・センターホール

受講料 1,000円(通し)  
定員 20人  
対象 小学生

- 講座から発表まで5回通しで参加できる方。保護者同伴でご参加ください。
- 動きやすい服装で、足袋または靴下を着用してご参加ください。
- 録音・録画機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。

11月28日(木) 9:00受付開始

お申込み  
お問合せ 茨木市文化振興財団・文化事業係  
【電話】072-625-3055 (9:00~17:00)  
【web】https://www.ibabun.jp



JR茨木駅から東へ徒歩10分。  
阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

あらすじ

柿山伏 (かきやまぶし)

山伏が葛城で修行して帰る途中、道端の柿の木に登って無断で柿を食べていました。それを見て腹を立てた畑主は、木のかげに隠れた山伏をからかってやろうと、わざと「あれは鳥だ」「猿だ」と声に出します。とうとう畑主のせられ鷺の鳴き真似をしながら木の上から飛びおりてしまいますが…。

菌 (くさびら)

男の家に大きな菌(キノコ)が生え、取っても取ってもなくなりません。山伏が祈りを始めるものの、菌はますます増え、山伏や男にいたずらをします。必死になって祈る山伏を尻目に菌はどんどん増え続け…。

講座

講師



茂山千三郎 しげやま・せんざぶろう

1964年9月4日、十二世茂山千五郎の三男として生まれる。自主公演の花形狂言会やTOPPA!を主宰し、古典狂言の魅力をアピールする。その反面、FM京都のパーソナリティを14年勤め、京都市交響楽団や立川志の輔、夏川りみ、藪内佐斗司らともコラボし、古典の枠にとられない活動を展開。「だんご髻」、「都わたり」など、新作狂言の脚本も手掛け、中でも『流れ星-X』は愛・地球博その他で発表し、各地エコロジー団体より上演の要請を受ける。近年では團伊玖磨作曲のオペラ『ちゃんちき』を演出し、UFJ信託銀行奨励賞受賞。著書に集英社新書『世にもおもしろい狂言』がある。



鈴木実 すずき・みのる

1978年7月10日、東京に生まれる。2002年に「café 1036 east」(東京・茂山千三郎社中)で狂言の稽古を始め、2006年に千三郎の元に正式入門する。それまでは、大学在籍中より演劇活動を始め、関東を中心に役者・モデルとして活動していたが、狂言の魅力に取り憑かれ狂言師を目指す事を決意。同年、インド・ニューデリー日本文化センター開所式記念公演に参加。『棒縛り』にて初舞台。2007年、京都能楽養成会入会。2011年より、同門の島田洋海、増田浩紀、井口竜也、山下守之らと狂言「五笑会(ごしょうかい)」を結成。年4回、京都府立芸術会館にて狂言会を催す。2013年、京都能楽養成会卒業。日本能楽協会入会。同年4月に独立。11月に独立披露狂言を開催。日本能楽協会会員。